

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		国際理解教育推進事業費[国際理解教育推進事業（日本語指導）]									
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導費	事業番号	15
事業の種別		☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）									
担当部署・課長名		教育指導 課 指導 係 課長名 小野 隆一									
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号		1 - 1
【施策名】 学校教育の充実									総合計画書（ページ）		31
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	帰国子女や外国籍の日本語が話せない児童生徒				日本語指導が必要な児童生徒数						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
学校生活において必要最小限の日本語を身に付けさせる。				事業者が各校に実施した日本語指導に関するアンケート（3学期）において「読み書き能力の向上」について「非常に効果がある」「効果がある」と回答した割合							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）							
当該児童生徒が在籍する学校へ専門の指導員（講師）を派遣（委託契約により時間単位で要員を派遣）している。				予算の範囲内において、必要に応じ各学校へ配当し、指導を行った。							
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	16	14	19					
	成果指標	②の数値	%	100	100	100					
	目 標	②の目標値	%	90	90	90					
		目標値設定の考え方 指導員を配置した学校において、効果があると回答する学校割合90%以上を目指す									
活動指標	③の数値	時間	493	445	580						
3 経費	事業費（実績）		円	2,363,768	2,153,800	2,284,040	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,250,000円 時間単価は、 4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円	2,363,768	2,153,800	2,284,040					
		特定財源（国・都・他）	円			0					
		（うち受益者負担）	円			0					
		人件費（目安）									
	所要人数（再任用以外）	人	0.03	0.03	0.03						
	所要人数（再任用）	人									
	職員人件費（再任用以外）	円	249,300	251,400	247,500						
職員人件費（再任用）	円										
事業費＋人件費		円	2,613,068	2,405,200	2,531,540						
4 環境変化等	（1）開始年度		不明 年度								
	（2）環境の変化 この事業は平成7年度以前から予算の枠内で委託契約方式で実施している。対象児童・生徒の母国語は主に中国語・タガログ語・英語となる。 対象指標である日本語指導が必要な児童生徒数が開始当初と比較し微増している。今後も増え続けていく見込みである。										

